

# 令和5年度第1回大府市要保護児童対策地域協議会代表者会議

日時：令和5年5月18日(木)  
午後1時30分から午後2時45分  
場所：石ヶ瀬会館

出席委員：杉浦至郎・中山知乃・森下明雄・東千恵子・弓場結子・浅田真由美・  
櫻井英代・杉浦文男・佐藤雅浩・廣瀬帆曜・井原三奈・永田範子・山  
口良志恵

事務局：学校教育課係長・健康増進課係長・福祉総合相談室主査・健康未来部  
部長・子ども未来課課長・子ども未来課総括係長・子ども未来課主査・  
子ども未来課主事・子ども未来課家庭児童相談員

欠席委員：近藤雅明・山崎千佳・竹内美喜・今村繁夫

傍聴者：なし

1 社会福祉事務所 副所長 あいさつ

2 自己紹介

3 議題

(1) 会長・副会長選出

互選により、会長に杉浦至郎委員、副会長に今村繁夫委員を選出。

〈会長〉

・令和4年度は頭部外傷等の重症や重大の案件が多かった。未然に防げるよう関  
係機関と連携を取っていききたい。

(2) 令和4年度実績報告

ア 知多児童・障害者相談センター実績報告

令和4年度 愛知県知多児童・障害者相談センターの相談実績について 資料1

書面にて確認

イ 大府市実績報告 資料2

資料2に基づき事務局より説明

質疑応答

〈会長〉

・あいち小児と大府市とのプロジェクトを行い、地域の医療機関から要支援家庭  
の連絡が増えた。今後も継続していききたい。今後どのように結果を表してい  
くか。

〈事務局〉

- ・令和4年度は実証事業で行ったため、通告件数にカウントしていない。令和5年度からは件数にカウントしていく。通告経路が増えたと考えて対応していく。

〈委員〉

- ・大府市は身体的虐待が多いが、児相は心理的虐待が多いのはなぜか。

〈事務局〉

- ・児相へは警察から夫婦喧嘩を子どもが目撃するという心理的虐待の通告が多い。

〈委員〉

- ・「長期の関わり」の「長期」の基準はあるか。

〈事務局〉

- ・特に基準はないが、1年以上の関わりを「長期」としている。

#### ウ 児童虐待防止・里親に関する啓発活動

資料3

資料3に基づき事務局より説明

質疑応答

〈委員〉

- ・里親サロンは、毎回大府市で行われるのか。

〈事務局〉

- ・月2回行われ、1回は児相か他市町、もう1回は大府市で行っている。県の事業であるが、啓発活動に協力をしている。

〈委員〉

- ・里親サポーターとは何か。

〈事務局〉

- ・里親の支援を行う役割のこと。里親の外出時やレスパイトとして利用されている。

〈会長〉

- ・市内施設訪問40か所はどのように行ったのか。

〈事務局〉

- ・各施設を訪問し、早期発見の啓発・対応・ケース説明を行った。

#### (3) 令和5年度会議予定

資料4

#### 4 意見交換

〈会長〉

- ・あいち小児が実施する「育児もしもしキャッチ」で相談を受けているが、電話での相談数が減少したため、R5年5月からLINEでの相談を始めたところ、写真やス

クリーンショットをして状態を知らせてくれる相談者もみられた。

〈委員〉

・人権に関する相談も LINE 相談を再開した。LINE の方が相談しやすい環境になっている。

〈委員〉

・昨年は車内放置の事件が2件あった。その1件は大府市で起こった。車内に子どもが残されている状態を発見したら、迷わず110番してほしい。また、通告した際は、警察が到着するまで現場にいてほしい。

〈委員〉

・長期に関わる虐待世帯への課題は。

〈事務局〉

・子どもだけでなく親も発達に問題がある家庭が長期に渡り関わっていることが多いため、長い目で見守りを続けている。

〈委員〉

・虐待で通告されない子、気づかれていない子への課題は。

〈事務局〉

・永遠の課題である。見えていない虐待はある。市では、相談件数を上げることを目標としている。虐待防止に興味がある方は、意識して取り組んでくれているが、興味を持っていない方に知ってもらうよう啓発活動に努めている。その一つとして、市役所にはいろいろな用事で来庁される方がいるため、多くの方に見てもらえるよう市役所ロビーで啓発活動を行っている。

〈会長〉

・大府市は、就学前は乳幼児健診等を通じて行政が、就学後は学校がアプローチし、案件によっては行政も一緒に支援を行い、学校と行政との連携が取れていると感じた。

〈委員〉

・学校では、SSW、心の教室相談員、家庭児童相談室と連携してサポートをしている。

〈委員〉

・学校と保護者が良い関係で支援をしていきたい。学校以外の相談場所として家庭児童相談室を紹介させてもらっている。

〈委員〉

・大府市は各関係機関との連携が取れているように感じる。市内の学校に所属している児童については関係機関と連携がとりやすいと思うが、市外に通っている児童に関する情報等で苦労はあるか。

〈事務局〉

・高校にも SSW、SC が増えてきた。保護者や児童に了解を得て、市外の高校とも

連携を取ったり、市役所で面接をする等の対応をしている。また、福祉総合相談室とも連携を取っていく。

〈委員〉

・年に2回、小中学校の情報交換会を行い、情報共有し見守りをしている。

〈委員〉

・ネグレクトと判断する基準はあるか。

〈事務局〉

・家庭や諸々の状況によってネグレクトと判断するかは異なるため、線引きをするのは難しい。家庭の状況を把握し、対応策を検討する必要がある。

〈委員〉

・PTAの役員として、できることはあるか。

〈委員〉

・仕事を持つ保護者が多くなり、その中でPTA役員をしてくれている。ポジティブに活動を行ってほしい。

## 5 その他

- ・人権連続講演会の案内
- ・代表委員任期についての確認

次回予定

日時：令和6年2月頃を予定

場所：大府市役所 会議室